

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/joseikatuyaku/ladygp/f-net.html>

福井県とお茶の水女子大学が共同で作成・実施する女性リーダー育成研修プログラム「未来きりりプログラム」。令和元年度の研修も、あっという間に大詰めです。仲間との残り少ない日々を噛みしめながら、それぞれのコースで1年間の成果発表の場に臨みました。

企業リーダーコースは発表会に向けてグループで一致団結

12月11日（水）  仮想プロジェクト④

「プレゼンテーション技術」 講師：一般社団法人日本経営協会 寺田久美氏

ビジネスプランに会社の理念やビジョンをどう盛り込んでいくか、そのために大切なニーズの分析から事業効果の見込み方に至るまでのポイントや掘り下げ方を細かく教えていただきました。「売りたいものは何か」を起点にビジネスプランを構築していく中で、内部環境と外部環境のつながりに違和感や矛盾を与えてしまうようだとプレゼンテーションとしての説得力に欠けてしまうのだと気づきました。



また、「伝える」ためのコツについていくつかのワークで学んだほか、パワーポイント資料についてビジュアルで訴える方法も教えていただきました。これらを踏まえて、自分たちのプレゼンテーションが魅力的に仕上がるようにと、各班のグループワークもいよいよ熱のこもった感じになってきました！（担当 前田）

1月21日（火）  仮想プロジェクト⑤

「プレゼンテーション実践」 講師：同上

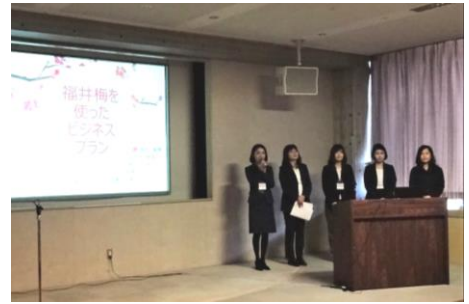
「ビジネスプランの発表会の心得」について学びました。押さえるポイントは大きく3つ。①ゆっくり、はっきり話すことで聞き手の耳に残す、②文の終わりは曖昧にせず、言い切る事で聞き手にインパクトを与える、③積極的に話を聞いてくれる人を探し、身振り手振りを付けながら、アイコンタクトを取ったり外したりテクニックを使う。このポイントを押さえながら、2月の発表会ではグループで作ったビジネスプランを最高の形で発表したいと思います。（担当 三好）



各班の発表テーマ

- 1 班：福井の梅を全国へー未来もごはんのおともー
- 2 班：福々梅衛門酒造
- 3 班：食べてもいいレストランーPlum Joyー
- 4 班：『福井』×『梅』心と体の健康ツアー
- 5 班：『あわら』を梅テーマパークに

県生活学習館3階映像ホールにおいて「ビジネスプラン発表会」が開催されました。今年のテーマは「福井梅を使ったビジネスプラン」です。4月からの研修を踏まえ、9月からは実践的にチームで課題に取り組んできました。各チーム、いよいよ渾身のビジネスプランのお披露目です。



講師の寺田久美先生を始め、5名の審査員をお迎えし、緊張感の中、発表が始まりました。どのチームも市場調査を根拠に目的やターゲットの設定がなされ、斬新なアイデアが盛り込まれた完成度の高い内容でした。10分という限られたプレゼンテーションや質疑応答においても、真摯に思いを届ける姿はとても誇らしく感じられました。

1つの目標に向かって、チームでお互いを補い合いながら企画をブラッシュアップしたこの数カ月。1人では成し得なかったこの経験は、大変貴重なものとなりました。(担当：道場、田中、林)

結果発表

第1位 1班



**テーマ：福井の梅を全国へ
—未来もごはんのおとも—**

取り扱う商品が決まるまで迷いましたが、分担して現状分析や販売方法を調べました。時間外に何度か集まりましたが、みんなの頑張りや結果に結びついたと思います。全員で同じ目標に向かって、同じ方向を向いて進む大切さを学びました。また、チームでの受賞は喜びも増すことを改めて感じました。チームカッてすごい！ (班長 大橋)

第2位 3班



**テーマ：食べてもいれレストラン
Plum Joy(プラムジョイ)**

経験も、考え方も、年齢も違うメンバーが日を追う毎に、1つのチームになっていきました。それぞれの良い部分を発揮し合い、形になり、このような結果が頂けたことを本当に嬉しく感じています。関わって頂いた全ての皆様へ感謝の気持ちです。ありがとうございました。(班長 道場)

2班



議論を重ね、全員で最高のビジネスプランを作りあげることができました。妥協しない・言いたいことを言い合える・気配りも忘れない最高の女性リーダーの集まりです。今後の活躍に期待(^^)/(班長 近藤)

4班



1人1人の個性や長所を最大限に生かして、最後まで6名で企画・発表を成し遂げることができました。楽しく頼もしい最高のメンバーに感謝です。

(班長 井上)

5班



コンテスト当日は、緊張の瞬間を、楽しみながら、迎えることが出来ました。達成感と満足感でとても充実した半年間。悔しい結果となりましたが、やりきった〜〜5班最高。(班長 竹内)

編集後記①

今年のテーマは「福井梅を使ったビジネスプラン」。なかなか幅広いテーマでどのようなプランにしていくなか、どの班もとても悩んでいたように感じます。悩み抜いて作り上げられたプランはどれもおもしろく、是非実現してほしいものばかりでした。また半年という長い間、より良いプラン作成に向けてメンバーと過ごしたことで、チームの重要性を改めて実感しました。この経験を胸に、これからも仕事に励んでいきたいと思えます。ありがとうございました。(担当：新本)

製造業リーダーコースは学びを活かす実践計画書づくりに挑戦

12月16日(月)  **ものづくりスキルアップ講座④**

「**現地視察研修**」 講師：一般社団法人中部産業連盟 参事 杉藤里美氏

1社目：トヨタ自動車株式会社

事業内容：自動車の生産・販売
従業員数：370,870人（2019年3月末現在、連結）



トヨタ自動車元町工場を見学させていただき、「トヨタ生産方式」を実際に目で見て学ぶことができたことは、とても貴重な体験となりました。“よい品・よい考”というスローガンのとおり、従業員一人ひとりから品質に対しての高い意識を感じると共に、不良品を後工程に流さないシステム作りの徹底や、ムダを生まない工夫が工場にあちらこちらに散りばめられていました。

この学びを活かして、自社でも“よい品”を提供出来るよう、改めてお客様ファーストのものづくりに取り組みたいと思います。

(担当：今川・富田)

2社目：株式会社ジーエスエレクトック

事業内容：自動車向けワイヤーハーネスの製造・販売
従業員数：5,050人（2017年3月末現在、連結）

ジーエスエレクトックの工場に入ってまず初めに感じたことは、場内の見通しの良さです。アンドン※が見やすく、異常に素早く気付ける工夫がされていました。また、改善活動への取り組みも素晴らしく、現場でチームを作り、毎日QC活動を行っているそうです。女性ならではの遊び心のある工夫や仕掛けが至る所に見られ、現場のムードもとても和やかに感じました。

交流会では、メンバー一人ひとりの質問に丁寧に答えていただき、女性の上司ならではの発想で多くのアドバイスをいただきました。男性上司に対しても、部下に対しても、言い方ひとつで上手く物事を進められると教えていただいたので、早速実践したいと思います。

※ 製造ラインの状態を示す表示板

(担当：樋口・谷口)



1月15日(水)  **ものづくりスキルアップ講座⑤**

「**チームリーダーとしての問題解決・現場改善②**」 講師：同上



前々回の講義に続き、今回は現場で起きている問題解決に向けての要因解析術と、現場改善についての取り組み方について学びました。

特性要因図の活用法については、「天ぷらがカラッと揚がらない」を仮のテーマとし、チームごとに要因を洗い出しながら「特性要因図」の作成に取り組みました。要因の洗い出し中に、各々が「ブレン・ストーミング」を意識したことで、自分では思い付かなかった要因が挙がったり、笑いが起こったりと、気付きの多い実習となりました。

問題が起きた時は解決策を考える事に気を取られ原因を考えることを飛ばしがちになりますが、その都度チームで要因を洗い出し、再度同じミスが起こらないよう対策することが大切なのだと感じました。

(担当：瀬越・山腰)

「研修の学びを活かす『実践計画書』の作成」 講師：同上

1年間の集大成となる本講義では、最終課題である「実践計画立案書」の作成と発表を行いました。今までは架空のテーマを用いた研修や、2名以上のグループワークが主であったため、各人で自社の問題点を洗い出し社外の方に向けてプレゼンすることに、当初は不安もありました。

しかし、発表前にプレゼンテーションの心得を学び、聞き手を惹きつけるポイントや、動き・言葉のノイズ等注意すべき点の対策を練られたことで、意識付けをしながらより良いプレゼンが出来ました。

情緒的な価値観で見つけた改善点に論理的な表現を用いることは、まさにモノづくりに生きる女性の視点だと思います。今後もこの学びを活かし、女性ならではの発想で、福井のモノづくりをブラッシュアップしていきたいです。(担当：岩野・西澤)



編集後記②

製造業リーダーコースでは、現地視察研修や個人活動の発表など、ものづくりにおいて多くの刺激を頂きました。新型コロナウイルスの影響で修了式は中止となりましたが、本当に仲間にも恵まれたと思います。自社に戻ってからも一年間で学んだ様々な経験を活かし、ここで繋げていただいた仲間と共に、女性が活躍できる社会づくりに貢献していけたらと思います。(担当：富田)



卒業メンバーからの言葉

今年度プログラムの修了式は、残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。そこで、卒業メンバーを代表して、女性ネット会長からコメントをいただきました！

福井県には、個性豊かで魅力的な働く女性がこんなにも多くいるのだと、たくさんの勇気もらった日々でした。リーダーを目指す女性や、経験を重ね、より素敵になったメンバーと、再び会えることを心の励みに、今日も仕事に真摯に向き合いたいと思います。ご指導いただいた講師の方々、プログラムの運営にご尽力いただいた方々、1年間本当にありがとうございました。



ふくい女性ネット12期会長 道場美幸

ふくい女性ネット(第12期)参加企業 — ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業 —

アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)	(株)アタゴ	イーゲート(株)	(株)エイチアンドエフ
エネックス(株)	(有)F-one インテリア	(株)大津屋	小浜製綱(株)
オリックス(株) 福井支店	(税)合同経営会計事務所	(株)米五	(株)サーフボード
(公財)坂井市スポーツ協会	(株)サカエ広告	柴田商事(株)	ジャパンポリマーク(株)
(株)ジャルダン	(株)SHINDO	(有)ダイケイ	東洋染工(株)
永森建設(株)	(株)日本エー・エム・シー	(株)日本オカダエンタープライズ	ファーストウッド(株)
(公財)福井県文化振興事業団	福井経編興業(株)	福井鐵工(株)	福井商工会議所
(学)福井仁愛学園	(株)福井新聞社	(株)PLANT	北陸電力(株) 福井支店
(株)ふじや食品	(株)ほっとリハビリシステムズ	マイラン EPD(同) 勝山事業所	(株)ミヤゲン
MIYOSHI.GP.	リコージャパン(株) 福井支社	(株)六大陸	

(39社 50音順)